

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

令和2年第1回

那須塩原市議会定例会

(3月)

【代 表 質 問 者】

那須塩原クラブ

議席 11番 相馬 剛 議員

公明クラブ

議席 4番 田村 正宏 議員

志絆の会

議席 18番 眞壁 俊郎 議員

受付番号	令和 2 年 2 月 17 日
第 3 号	午前 10 時 30 分受付 午後

令和2年 2月17日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

会派名 那須塩原クラブ

議席番号 11番 相馬 剛



会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和2年第1回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、令和2年度、市政運営方針と 主要事業について	渡辺市長におかれましては、市長就任以来「持続可能なまちづくり」を基本的な考え方として、那須野が原の繁栄のため、市政運営に取り組むとしています。その上で、本市のみならず、県北地域における人口減少・少子高齢化社会に対応すべく広域連携を図るとともに、組織機構を改革し、具体的な政策の実現を加速する考えであると理解しております。 そこで、令和2年度の政策や主要な事業について、市民生活に与える影響と市の将来に与える影響など、どう考慮しているか、以下のとおり伺います。 (1)「豊かな自然と共に生きるために」の政策について ①グリーンボンドの取組内容について ②「気候変動適応計画」による市民生活、及び市の将来に与える影響について (2)「まちの安全安心を守るために」の政策について ①防災情報伝達機器整備事業の具体的内容について ②「国土強靱化地域計画」の具体的内容について

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3)「誰もが生き生きと暮らすために」の政策について
	①「在宅医療・介護連携推進事業」について、現在の課題と具体的取組内容について
	②「健康ポイント事業」の取組内容と目標値について
	(4)「快適で便利な生活を支えるために」の政策について
	①主要道路の整備の具体的路線名と整備内容さらに整備完了予定時期について
	②「MaaS」の調査・研究の具体的内容と調査方法について
	(5)「地域の力と交流を生み出すために」の政策について
	①「みちたろう T0 わくわくトーク事業」の実施計画と成果目標について
	②海外との連携における具体的取組と組織について
	③「那須塩原駅周辺まちづくりビジョン策定事業」における、ブリヂストン黒磯工場跡地活用の位置付けについて
	(6)「まちの活力を高めるために」の政策について
	①付加価値のある農畜産物をまちづくり推進に活用する具体的内容と成果目標について
	②「スマート農業推進事業」の実施内容と成果目標について
	③「二次交通の整備」の具体的内容について
	(7)「まちの持続的発展のために」について
	①「動画配信事業」の具体的内容について
	②新庁舎建設の具体的スケジュールについて

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2、令和2年度当初予算編成の考え方について	那須塩原市誕生 15 周年の節目となる令和2年度、また、渡辺市長就任後、初めての当初予算編成については、「持続可能なまちづくり」を事務事業推進のキーワードとして「第2次総合計画前期基本計画」で取り組んできた各施策の進捗状況や残された課題を踏まえ、将来像の実現のため、本市ならではの地域資源や優位性を生かした施策の推進と、既存事業の見直しを行い、新時代にふさわしいまちづくりを図る予算とし、一般会計当初予算を 495 億円、前年度比 4.4%増、特別会計予算をおよそ 235 億円、前年度比 3%増としています。那須塩原クラブでは、昨年 11 月に市民からの要望を取りまとめ、予算確保及び事務事業改善等の要望書を提出しており、行財政運営や財源配分の効率化を図り、市政の発展と市民福祉の向上を目指し取り組まなければならないと思っています。そこで、主要な項目を挙げ質問いたします。 (1) 歳入について、以下の内容を伺います。 ① 市税を前年度比 1.4%減とする要因 ② 法人事業税交付金と環境性能割交付金の内容 ③ 財政調整基金繰入金を前年度比減とする理由 (2) 歳出について、以下の内容を伺います。 ① 防災対策費での新規事業の内容と想定する効果 ② 新庁舎整備事業費の内容 ③ 行政情報システム管理費での新規事業の内容 ④ 放課後児童クラブ整備事業費の新規事業の内容 ⑤ 有害鳥獣対策費の前年対比減となる理由 ⑥ 危険ブロック塀改善事業費の新規事業の内容 ⑦ 図書館管理運営費の新規事業の内容

受付番号	令和 2 年 2 月 14 日
第 / 号	午前 4 時 15 分受付 午後

令和2年 2月14日

那須塩原市議会議長 吉 成 伸 一 様

会派名 公明クラブ

議席番号 4 番 田村 正宏



会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和2年第1回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、市長の掲げる「持続可能なまちづくり」について	昨年一年間に生まれた赤ちゃんは一気に 86 万人まで減少しました。日本は今、予想をはるかに超えるスピードで進行する少子高齢化・人口減少、一向に改善されない東京一極集中、気候変動に起因する温暖化に伴う自然災害の激甚化・頻発化など様々な課題に直面しています。そんな中、国際社会が解決すべき課題を網羅した世界共通の目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」と地球温暖化対策の国際的な枠組みである「パリ協定」は共に 10 年後の 2030 年が目標達成年次となっており、本市にとっても今後 10 年間の市政運営によって、将来の持続可能性が左右されるといっても過言ではありません。 就任以来一貫して「持続可能なまちづくり」を提唱し、率先して様々な政策を発信し具現化させている渡辺市長のもと初めて編成される新年度予算が、住民福祉の向上と、地域の持続可能性を高めることを期待して以下の事柄について伺います。 (1) 令和2年度市政運営方針について ① 市長の政策マニフェストと新年度予算編成について ② 栃木県北 20 万～30 万人都市構想について

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	③ ブリヂストン黒磯工場跡地の有効活用について
	④ 国の令和2年度地方財政計画に計上された事業について、どのように取り組むのか
	⑤ 国民体育大会と全国障害者スポーツ大会の環境整備について
	⑥ Society5.0 の実現に向けたインフラ整備とローカル5G 導入の考えは
	⑦ 子ども・子育て環境の充実により、市の将来に与える効果をどのように考えているか
2、新型感染症等の対策について	現在、新型コロナウイルスによるによる感染被害が猛威を奮っています。本来、公衆衛生上の緊急事態に際しては、正確な情報を適切な時に、隠さずに公表する必要があるにも関わらず、中国はその初動において適切な対処を怠ったために被害が拡大してしまったと言われています。本市においても、今後、新型感染症などによるパンデミックが予想される際に、適切に対処するための体制を整備する必要があると思うことから以下の事柄について伺います。 (1) 公衆衛生上の緊急事態を想定した部局横断的な組織体制を構築する考えは (2) 公衆衛生上の緊急事態を想定したマニュアルなどを作成する考えは

受付番号	令和 2 年 2 月 17 日
第 2 号	午前 9 時 45 分受付 午後

令和 2 年 2 月 17 日

那須塩原市議会議員 吉 成 伸 一 様

会派名 志 絆 の 会

議席番号 18 番 眞 壁 俊 郎



会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和 2 年第 1 回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市政運営方針について	渡辺市長は、平成から令和への時代の大きな転換点に、那須塩原市長に就任以降、市民の皆さまが安心して住み続けることができ、将来にわたり継続的に発展していくまちを目指し、持続可能なまちづくりを市政運営上のコンセプトに掲げ、「ワクワクドキドキするまちづくり」の市政運営に邁進してきました。就任 2 年目となる来年度は、未来永劫栄える那須野ヶ原の将来のために、「地方からやらなければならないこと」「地方でしかできないこと」に率先して取り組みより一層「ワクワクドキドキするまちづくり」を進めることから大いに期待をして伺うものです。 (1) 那須地域定住自立圏の取組及び栃木県北地域における 20 万人から 30 万人都市構想について伺う。 (2) ブリヂストン黒磯工場跡地の有効活用について伺う。 (3) 組織機構改編の大胆な改革について伺う。 (4) 基本政策 1 の「豊かな自然と共に生きるために」の再生可能エネルギーや気候変動適応等の環境保全に関する施策の資金調達手段、グリーンボンドの取組について伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(5) 基本政策4の「快適で便利な生活を支えるために」の地域
	バス運行事業、広域公共交通推進事業及び [Ma aS] についての
	最新の事例等の調査・研究について伺う。
	(6) 基本政策5の「地域の力と交流を生み出すために」の那須
	塩原駅周辺まちづくりビジョン策定事業について伺う。
	(7) 基本政策6の「まちの活力を高めるために」の那須高林産
	業団地造成事業について伺う。
	(8) 基本政策7の「未来を拓く心と体を育むために」の国民体
	育大会推進事業について伺う。
	(9) 基本政策8の「まちの持続的発展のために」の新庁舎への
	取組について伺う。
2. 令和2年度当初予算編成に ついて	令和2年度は、将来に向けた道しるべである「第2次総合計画 前期基本計画」が4年目を迎え、計画の最終年度である令和3年 度に向け、これまでに取り組んできた各施策の進捗状況や残され た課題を的確に捉え、将来像の実現のために一段とスピードを加 速させる。また、那須塩原駅周辺まちづくりビジョンを策定し、 栃木県の北都の玄関口にふさわしい持続可能なまちづくりを推進 する。令和の新時代を迎え、那須塩原市誕生15年の節目の年と なる令和2年度の事務事業推進のキーワードを、「持続可能なまち づくり」とし、本市ならではの豊かな資源や優位性を活かした施 策を推進する一方、既存事業は聖域をつくることなく見直し行な い、前例踏襲という固定観念から脱却し、新時代における共生社 会や令和にふさわしいまちづくりを図る予算としたことからお伺 いするものです。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 財政状況と今後の見通しについて伺う。
	(2) 事務事業推進のキーワード「持続可能なまちづくり」について伺う。
	(3) 「第2次総合計画前期基本計画」の最終年度である令和3年度に向け、これまでに取り組んできた主な各施策の進捗状況及び残された課題について伺う。
	(4) 本市ならではの豊かな地域資源や優位性を活かした施策の推進について伺う。
	(5) 既存事業は聖域をつくることなく見直しを行い、前例踏襲という固定観念からの脱却について伺う。
	(6) 行財政改革および事業のスクラップアンドビルドについて伺う。
	(7) 歳入・歳出の主な状況について伺う。
3. 再生可能エネルギー利用について	渡辺市長は、昨年12月に県内初となる「CO2 排出量実質ゼロ宣言」や今年4月には、市町村レベルでは全国初となる気候変動適応センターを設置するなど、地球温暖化対策を積極的に進めようとしています。再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出せず、エネルギー安全保障にも有望なエネルギー源です。 那須塩原市は、水力、太陽光、バイオマス、地熱、風力など再生可能エネルギー電源のポテンシャルが非常に高い地域となっています。また、市長は、電力の地産地消や災害時の電力の確保等の考えもあることから、これからの再生可能エネルギー利用についての市長の考えをお伺いします。